

千葉電気設備株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



発行日：2024年4月30日

改訂日：2024年8月20日

I. 環境経営方針

【環境理念】

千葉電気設備株式会社は、総合電気設備工事一式、冷暖房設備工事といった各分野の設計、施工、保守を行う企業として、品質の高い設備づくりを目指し、日々努力を重ねております。2050年までに、日本が目指す「カーボンニュートラル」実現に向け、再生可能エネルギーの普及や省エネとして活用されるEV化の普及等の一助となるべく積極的、能動的に環境問題に向き合い、持続可能な地域の創造を目指し会社全体で取り組んで参ります。

【行動指針】

1. 二酸化炭素排出量の削減
2. 産業廃棄物の分別とリサイクルの推進
3. 地域の環境保全活動に積極的に参加
4. 水使用量の削減
5. 使用資材等の削減
6. 環境関連法等の遵守
7. 環境経営の継続的改善の実施
8. この経営方針は従業員へ周知します。

制定日：令和3年3月31日

千葉電気設備株式会社

代表取締役 千葉晃大

Ⅱ. 組織の概要

1. 名称及び代表者

千葉電気設備株式会社

代表取締役 千葉晃大

2. 所在地

青森県黒石市柵ノ木四丁目127番地

3. 環境管理責任者及び連絡先

山上 まどか

TEL : 0172-53-2838

4. 事業内容

電気工事業・電気通信工事業

5. 事業規模 (令和5年度)

売上高 1億8834万円

従業員数 15名

延床面積 771.8㎡

6. 事業年度

4月～3月

7. 対象範囲 (認証・登録範囲)

千葉電気設備株式会社の全組織・全活動を対象とする

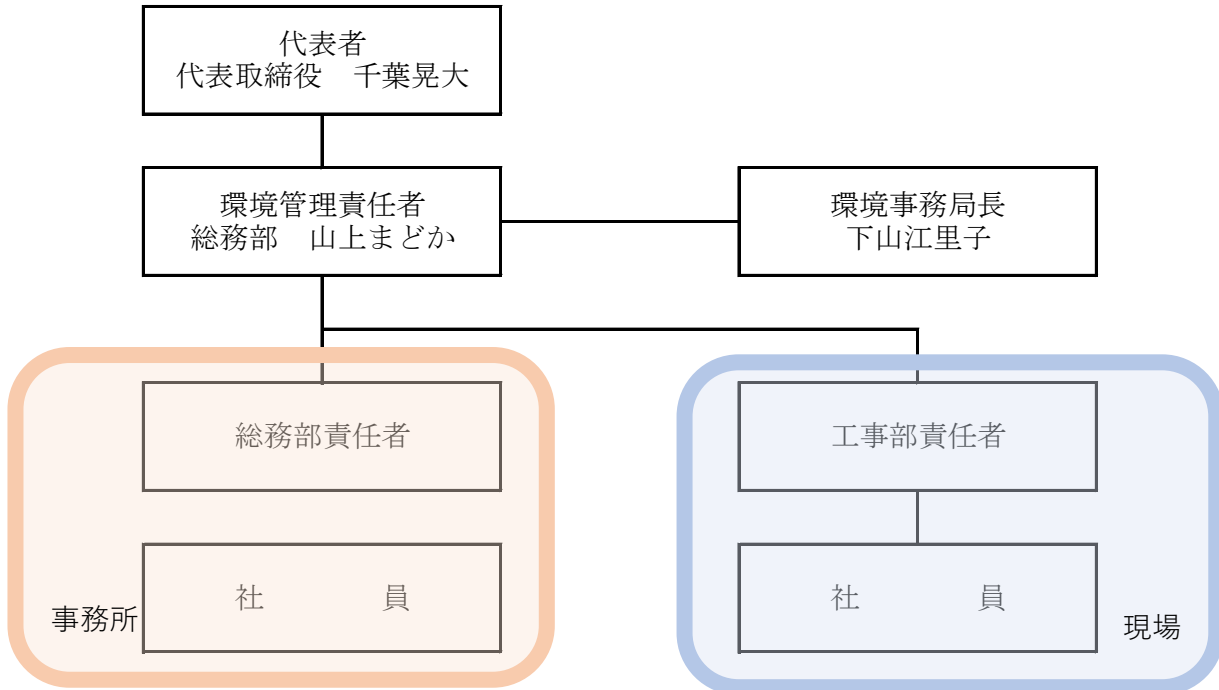
8. 環境活動レポートの対象期間 (発行日)

2023年4月～2024年3月

(2024年4月30日)

実施体制

2023. 4. 1現在



	役割・責任・権限
代表者 千葉 晃大	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 経営における課題とチャンス の明確化 環境経営方針の策定 環境管理責任者の任命など実施体制の構築 取組に関する必要な経営資源の準備
環境管理責任者 山上 まどか	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営方針、環境目標を設定 問題点の是正、予防処置の指示・確認
環境事務局 下山江里子	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営活動レポートの作成、公開
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 所管事項について環境経営システムを実施し、維持する 環境経営方針の部内への周知 教育訓練の実施 環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 問題点の発見、是正、予防処置の実施
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 環境経営目標とその実績

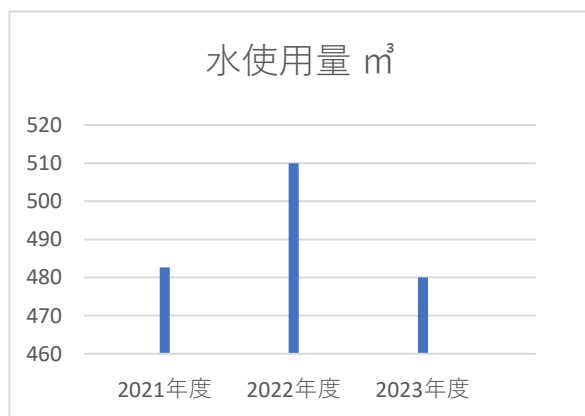
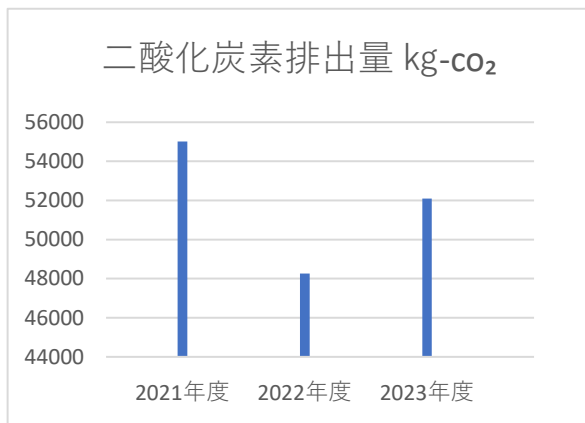
1. 主な環境負荷の実績

当社は主に電気工事業、電気通信工事業などを中心とした建設業に係る事業活動を行っており、環境負荷は表1の通りです。
 二酸化炭素排出量については、電力、ガソリン、軽油、灯油が主なものです。

表1 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	55010.61	48257.58	52100.97
電力	kWh	15553	15550	15479
ガソリン	L	9675.94	8140.50	7825.15
軽油	L	7036.68	6057.26	7823.62
灯油	L	2532	2266	2288
一般廃棄物排出量	kg	3063	4244	3685
産業廃棄物排出量	kg	2930	5620	6380
水使用量	m ³	482.65	510	480
化学物質使用量	kg	0	0	0
地域貢献活動	件数	1	1	1

(注) 二酸化炭素排出量の算定は、R3.1.7公表、東北電力㈱の調整後排出係数 0.521kg-CO₂/kWhを使用した。



2. 環境経営目標の設定

当社では、二酸化炭素排出量、一般廃棄物排出量、産業廃棄物排出量、水使用量の削減及び地域貢献活動に係る環境経営目標については数値目標を、それぞれ設定しました。

表2 環境経営目標

コア指数	環境方針	環境目標項目	削減率又は増加率(%) 単位	基準年度 2020年度 基準値	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)		
					2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	削減率(%)	13123.00	2	3	4
			kWh		12860.54	12729.31	12598.08
		ガソリンの削減	削減率(%)	10184.54	2	3	4
			L		9980.85	9879.00	9777.16
	軽油の削減	削減率(%)	7076.33	2	3	4	
		L		6934.80	6864.04	6793.28	
灯油の削減	削減率(%)	2690.00	1	2	3		
		L		2663.10	2636.20	2609.30	
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	削減率(%)	55420	2	3	4
			kg-co ₂		54311.60	53757.40	53203.20
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	削減率(%)	3299.00	1	2	3
			kg		3266.01	3233.02	3200.03
	産業廃棄物の削減・リサイクルの推進	削減率(%)	5620.00	1	1	2	
			kg		5563.80	5563.80	5507.60
水使用量	節水	節水の推進	削減率(%)	499	1	2	3
			m ³		494.01	489.02	484.03
地域貢献	地域貢献活動の推進	清掃活動等	件数	1	1	1	2
省エネ機器などの環境配慮製品の販売・提案			省エネ機器などの環境配慮製品の販売・提案を推進する。				

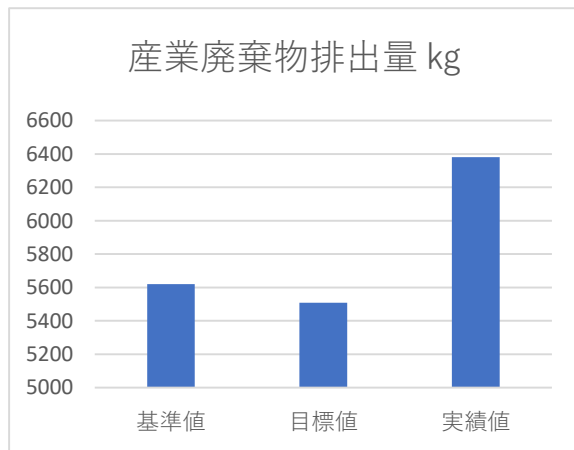
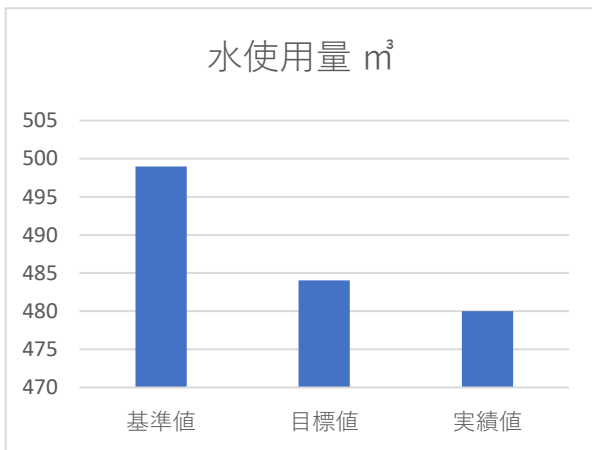
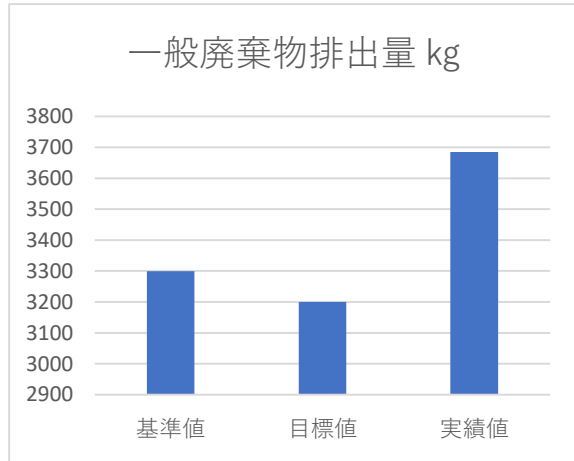
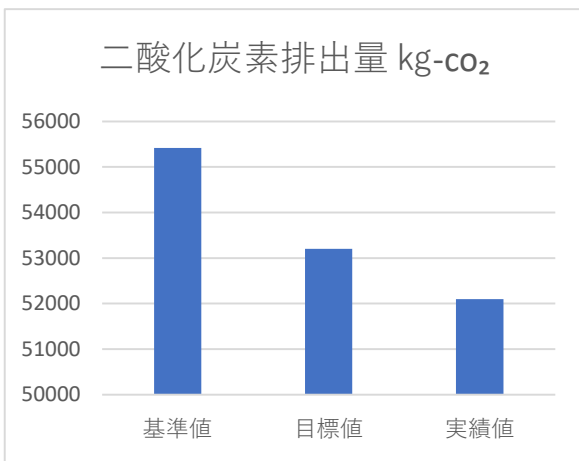
化学物質使用量については、使用実績が無いので目標設定をしておりません。

3. 環境経営目標の達成状況

当社では、事務所及び建設現場で環境負荷削減のため取り組んでおります。
 今回はエコアクション21を開始した2023年4月から2024年3月までの実績について評価
 結果を報告します。

表3 環境経営目標の達成状況

項目	単位	基準値 2020年度	2023年度			環境目標 の 達成状況
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	kg-co ₂	55420	4	53203.20	52100.97	○
電力	kWh	13123	4	12598.08	15479.00	×
ガソリン	L	10184.54	4	9777.16	7825.15	○
軽油	L	7076.33	4	6793.28	7823.62	×
灯油	L	2690.00	3	2609.30	2288.00	○
一般廃棄物排出量	kg	3299	3	3200.03	3685.00	×
産業廃棄物排出量	kg	5620	2	5507.60	6380.00	×
水使用量	m ³	499	3	484.03	480.00	○
地域貢献活動	件数	1	2		4	○
省エネ機器などの環境配慮製品の販売・提案	LED照明等の省エネ機器などの販売・提案ができた。					○



IV. 環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の目標・取組内容

環境経営計画については、環境経営目標に対応した具体的な取組の内容（達成手段）を表4の通り作成した。なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。

表4-主な環境経営計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組結果	次年度の目標・取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素の削減	①LED照明器具使用 ②事務所内各所不必要時は消灯 ③OA機器は省電力設定 ④ブラインドによる日差しの調整 ⑤人感センサーの設置による無駄の排除	△	昨年よりは減らせたが、目標には届かず。引き続き節電を徹底していく。	・OA機器の節電徹底、 ・エアコン、ストーブの温度調整を徹底 ・同じ現場に行く時はできるだけ相乗りで 基準値：51530.2 kg-CO ₂ 削減率：1.9% 目標値：50557 kg-CO ₂
	建設機械・自動車燃料費等の二酸化炭素排出量の削減	①車輛のタイヤ空気圧の適正維持 ②アイドリングストップ ③エコドライブを心掛ける	△	現場が多方面の為、増加した。	
	灯油・LPG等の二酸化炭素排出量の削減	①ウォームビズ運動 ②冷暖房機の温度設定の遵守（夏28℃、冬20℃）	○	目標達成	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	①裏紙の使用 ②再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入 ③発生したゴミは圧縮を行い、減量	△	昨年に続き事務所内での削減はできていたが、大きい現場があり、目標達成ならず	継続して取り組む 基準値：3685kg 削減率：1% 目標値：3648kg
	建設リサイクルの推進	①マニフェストを元に廃棄物の適正処理 ②廃棄物排出量が少ない作業工程に ③建設現場などで発生する廃棄物を混合廃棄物としないよう分別を徹底している ④有価材（鉄クズ、電線クズ等）リサイクル業者に売却 ⑤段ボール、電線用ドラムはリサイクル業者にて引取り	△	昨年に続き大きい現場があり適正に処理	継続して取り組む 再資源化 基準値：91.6% 目標値：92%
水使用量の削減		①節水の呼びかけ ②水道配管の定期的な点検・確認	○	目標達成	継続して取り組む 基準値：480m ³ 削減率：1% 目標値：475m ³
地域貢献活動		①地域のボランティア活動等に積極的に参加	○	地域のクリーン作戦に参加	継続して取り組む 基準値：4 目標値：4
省エネ機器などの環境配慮製品の販売・提案		①省エネ機器などの環境配慮製品の販売・提案を推進する。	○	目標達成	継続して取り組む

○：評価出来る、△まずまず評価出来る、×評価出来ない

環境経営活動の状況



人感センサー付き照明器具



LED照明器具



リサイクル品分別化



リサイクル品分別化



リサイクル品分別化



一般廃棄物分別化



太陽光発電パネル設置

2023年6月17日 草刈り活動状況

V. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が環境関連法規について違反、訴訟はありませんでした。
また、過去にも関係当局からの違反等の指摘、苦情、訴訟について問題ありませんでした。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
産業物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
フロン排出抑制法	エアコンディショナーの点検	遵守
水質汚濁防止法	灯油の貯油設備の点検	遵守
廃棄物処理法の改正など	有害使用済機器、水銀使用製品産業廃棄物の適正処理	遵守
設計図書・特記仕様書	該当工事の関係書類保管	遵守

VI. 代表者による全体評価と見直し結果

エコアクション21について取り組みした結果、継続的に実施していることもあり徐々にではありますが、社員の環境保全に対する意識が向上してきていると感じております。本年は、燃料費等の高騰の影響もあり、高い意識の中で取り組みは進めておりましたが、遠方の現場数の変動により、一部未達成の部分がありました。また、電力使用量に関しては本年、太陽光発電設備設置に取り組み、今後の電力使用量の削減に期待の出来る年となりました。

今後はさらに目標達成するため、社員一同、環境保全に対する意識の醸成に努めてまいります。